

# 中学校 1～3年

自分に合った学び方を身につける

## 中学生では…

自主的に家庭学習に取り組める子どもと、そうでない子どもの差が広がり、**学力差も大きくなります。**

**苦手な教科を作らないように**、日々の予習・復習が大切になります。

**時間をうまく活用して**、家庭学習が計画的にできるように励みましょう。

学習時間のめやす

60分～

## 学習の特徴

- 学習内容が多様になり、**自ら課題を見つけ解決する力**が必要になります。
- 筋道を立てて考える力**や、**広い視野で物事を見る力**がさらに必要になります。
- 新しく学習したことを覚えるだけでなく、**生活に関連づけて自分の考えを言えることが必要**になります。
- 自分の特性を理解**してくるとともに、得意な教科・苦手な教科がはっきりとしてきます。

## 家庭での援助

- 定期テストの前だけに目を向けるのではなく**、毎日、家庭学習に取り組めるようにしましょう。
- 新聞やニュース、読んだ本などの話題について、**家族で意見交換**してみましょう。
- 学習する場所を決め、整理整頓し、**計画を立てて学習**が進められるようにしましょう。
- 子どもの自己肯定感を育てるように、ほめたり、励ましたりすることが大切です。**子どもの伸びを見逃さずほめる**ようにしましょう。

# こんな勉強をしよう

【生徒用】

## 【国語】

### 基本型

#### <すらすら読めるまで声に出して読む>

授業で学習している文章を、毎日声に出して読みましょう。毎日音読することで読めない漢字に気づきます。また、内容が頭に浮かぶようになります。

音読は、文章を理解するための第一歩です。

#### <漢字は書いて覚える>

見て覚えるより、書いて覚える方が漢字を忘れません。特に「へん」や「つくり」の意味を考えながら書くと、記憶しやすいです。漢字を1行以上、何度も書いて覚えましょう。1日平均で5～10個の漢字を正しく書いて覚えましょう。

#### <分からない言葉はすぐ辞書で>

分からない言葉がでてきたらすぐに辞書で意味を調べましょう。意味が分かれば文章の内容は理解できます。国語辞典や漢字辞典で調べると分かる言葉が多く、国語の力がレベルアップします。

### 発展型

授業で学習した作者について調べたり、他の著書を読むのもよいでしょう。

また、主人公や登場人物の生き方に対する、自分の考えをまとめるのもよいでしょう。

同じ「へん」や「つくり」の漢字、あるいは同じ音や訓の漢字、同じ漢字が含まれる熟語やことわざを探すのもよい学習です。漢字検定等に挑戦することは目標ができて取り組みが意欲的になります。

国語の教科書だけでなく、読書で読んでいる本、新聞、ニュースなどでも、分からない言葉がでてきたら、ぜひ調べてみましょう。見えない力がつきます。

### 【Q&Aコーナー】

Q：問題で書かれている内容が難しく理解できない。

A：問題を読んでも「問題の意味が理解できない」という場合がありますが実際には、「問題で書かれている内容が難しい」というものは意外と少ないのです。

よく「問題を読んだ」と言いますが、これは、「問題を見た」というだけで「問題を読んだつもり」になっているのです。

「目」だけを使って「頭」や「体」を使わなければ「つもり」で終わってしまいます。『書く』ことで「体」を使って、『声に出して読む』ことで「頭」を使って理解することにつながります。

# こんな勉強をしよう

## 【社会】

### 基本型

#### <復習に重点を置いて、書いて覚える>

教科書をしっかり読み、ノートを見直して学習のポイントを確認します。重要語句や人物の名は漢字で書けるように書いて覚えましょう。地理だけでなく、歴史でも地図帳を活用し、地名を指で押さえると確認が深まります。

#### <学習した内容を詳しく調べる>

地理、歴史、公民の学習内容はお互いに関係しています。「なぜ?」「どういうこと?」という疑問をもって調べると、楽しい学習になります。図書館の本やインターネットなどを活用して調べることは、情報を集める力をつけられます。

#### <学習したことを社会の動きと関連づける>

社会科は、まさしく社会の動き、人間の生活を扱う教科です。新聞を読むこと、テレビでニュースを見ることで、社会科の学習が好きになります。教科書や地図帳、資料集で関係するところから探すのも楽しいことです。

### 発展型

地図をえがく、グラフで表す、資料を読み取ることは、学習内容を深めることができます。

歴史では時代の流れや特徴をつかむため、年表づくりや時代ごとのまとめも有効です。

社会の出来事は『いつ・どこで・だれが・何を・どのようになぜ』でまとめると深い見方ができます。また、もしも、自分が関係する人物だったら、どのように行動するか想像するのもよい方法です。

新聞記事をテーマに合わせて切り抜き、ノートに貼るスクラップをしてみましょう。感想や意見を加えると、物事を深く見つめる力、考える力がつきます。

### 【Q&Aコーナー】

Q：社会は暗記ばかりでつまらない。歴史は今の生活に関係ないのでは。

A：過去の人々はよりよい生活や社会をつくるために努力をしてきました。さまざまな歴史の結果が、現在の日本、世界を形作っています。歴史を知ることが、これからの社会づくりを考えるうえでとても重要なことです。主な用語や人物、できごとなどを覚えなければ、社会を理解することはできませんし、社会について考える手がかりもなくなります。いくつかのものごとを関連づけたり、地域や時代で特徴をまとめたり工夫すると覚えやすくなります。また、様々なできごとや人物について調べたり、自分の考えや意見、疑問をもって学習したり、毎日のニュースや旅行などに生かしたりすると楽しくなります。

# こんな勉強をしよう

## 【数学】

### 基本型

#### <教科書の例題を理解する>

教科書の例題は、解き方や考え方の基本が示してあります。式の意味、計算のしかたや流れをしっかりと理解しましょう。もう一度、例題を自分の力で解いて、自分のものにします。そのうえで、練習問題に挑戦しましょう。

#### <復習して何回もくり返して練習する>

授業で学習した内容を身につけるには、ワークや教科書の問題を何回もくり返し復習することが大切です。問題の解き方は、教科書や問題集に直接書きこまず、ノートに書きます。そして分かるまで何度もやります。

#### <公式を使えるようにする>

数学の公式や定理は覚えるだけではだめです。問題に合わせて使えるようにしてはなりません。公式や定理にある文字や言葉が何を表している、どのようなどきに使えるのか覚えるようにしましょう。丸暗記するだけではなく、使って覚えるようにしましょう。

### 発展型

応用問題が解けないという人は、ワークや問題集などにあるいろいろな問題を数多く解き、様々な形で出される問題に慣れることです。

内容に応じた解き方を身につけることも大切です。例えば関数では、グラフや表を書き、関数の式をまとめる練習も大切です。証明問題は、例題を見て、内容やしくみを考えます。関数と図形の混ざった総合問題にも挑戦していきましょう。

自分で問題集を購入する場合「ちょっと簡単」くらいの問題集がいいです。また、力に応じて基本問題、応用問題、発展問題に分かれているものが使いやすいと思います。さらに、数学検定等にも積極的に挑戦しましょう。

### 【Q&Aコーナー】

Q：数学は+、-、×、÷ができれば十分で、普段の生活でxやyなどの方程式は使わないのでは

A：生活していくうえで、物事を論理的に考える力がとても大切です。計算だけではその力つきません。文章問題や図形問題などを解くことで、論理的に考える力がつきます。また、物事に共通することを探ったり、正しいと思われることを求めたり、ムダをはぶいて一つにまとめたり、よりよい解決方法をうみ出す力も数学ではみがかれます。

さらに、普段の生活で応用すると数学で学んだことが生きてきます。たとえば、家や学校、公園の建物、道具、花だんなどにさまざまな図形の考えが活かされていますので、実際に探してみると楽しくなります。

# こんな勉強をしよう

## 【理科】

### 基本型

#### <教科書とノートの見直し>

教科書とノートには、学習のポイントが満載。教科書・ノートの見直しによって、授業で学習した事柄が身につきます。授業内容を確認しながら、要点をまとめると理解が深まります。さらにワークで練習問題をしましょう。

#### <実験のまとめをきちんと行う>

授業で行った実験について、「どのような方法、手順で行うか」「結果から何が言えるか」を自分なりにまとめましょう。「目的と方法」「結果と考察」をそれぞれ関連づけることで、学習内容を一つのまとまりとして理解できます。

#### <学習したことを身の回りの自然や生活と関連づける>

身の回りの自然と生活には理科にかかわる学習の素材があふれています。たとえば、地域の動植物を観察していると、自然の規則性に驚くことがあります。理科の学習の楽しさが分かり、学習内容が身につき、深められます。

### 発展型

教科書の文章や図などを整理して要点をまとめましょう。ワークは、学習したことを問題にあてはめて考える力をつけたり、重要事項を覚えたりすることに効果的です。

実験の手順や器具の操作方法、実験上の注意事項などを図を使ってまとめるとわかりやすくなります。結果をグラフに表すなどのデータ処理をすると「考察」が深められます。

図書館の本やインターネットを活用して、ふだんの生活で疑問に思ったことについて調べてみましょう。また、観察したことを記録し、図表でまとめましょう。科学研究発表などに参加しましょう。

### 【Q&Aコーナー】

Q：植物に興味がない。自然の法則を知ることが必要なのかわからない。

A： 私たち人間も自然の一員です。自然とも密接にかかわって私たちは生きています。たとえば、植物について学ぶことで、自然の規則性や巧みさを知ることができます。また、自然に対する豊かな感性を身につけることにもつながります。日本の進んだ科学技術は、「もの」と「もの」との間に働く物理や化学の法則、自然の法則を知り活用して産み出されたものです。環境問題や食糧問題など、私たちが抱える様々な問題は、自然のしくみを理解してはじめて解決できます。

このように理科の学習は、私たちの生活と密接に関係しています。生活と理科の学習を関連させて学びましょう。



# こんな勉強をしよう

## 【英語】

### 基本型

#### <声に出してよむ>

教科書を声に出して読む練習を毎日少なくとも3回以上はやりましょう。家でも発音できるように、授業中の先生の発音をしっかりと聞いて、正確に発音できるようにします。「習ったその日に音読」が大切です。

#### <書いて覚える>

教科書の単語や英文をゆっくり発音しながら、ていねいに書き写します。単語ならノート1行、英文なら5回くらい書くくらいでよいでしょう。覚えるまでくり返し書くことが大切です。時間をおいて復習し、書けなかったものを中心にくり返し練習しましょう。

#### <基本文をマスターする>

基本文とは、教科書にのっている重要な英文です。基本文を覚え、文を見て「読める」、文の「意味が分かる」、文が「書ける」ようにします。授業のノートやワーク、教科書を使って復習しましょう。

### 発展型

音読によってリスニング（聞く）力も伸びます。リスニングのCDなども活用しましょう。ラジオやテレビの語学番組を視聴するのもリスニング力をアップさせます。

予習で英単語の意味や発音を辞書で調べ、単語帳やカード、ノートに書いておくと、あとで使えます。ノートの左ページに英文、右ページに日本語を書き、日本語を見て英文を書く練習をすると力がつきます。

英語検定等に挑戦し、目標をもって学習に取り組みましょう。英語を使って日記や手紙を書くことも力がつきます。家族や友人に英語を使って会話することをやってみましょう。

### 【Q&Aコーナー】

Q：普段の生活では英語を使わない。英単語の暗記はつまらない。

A：英語は私たちが世界と出会うための「窓」です。今後日本の国内においても国際化がますます進み、仕事でも観光でもますます外国の方との交流が増えます。日本語だけでなく英語の出番です。

英語の学習を通して外国の文化にふれることができます。海外旅行に行けば、私たちは世界の共通語・英語を使わざるをえません。また、インターネットなどでパソコンを使用する場合、音楽番組や外国の映画を視聴する場合、ひんぱんに英語が登場します。最低限の英語の力を身につける必要があるでしょう。

英語を使って外国の方と会話できれば、新しい世界が広がるでしょう。